

入鹿小だより

～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 31年 2月 12日
第 21 号

ゲストティーチャーの皆さんありがとうございました

1月末から2月初めにかけて、入鹿小学校にはたくさんのゲストティーチャーの皆さんにお越しいただきました。ゲストティーチャーというのは、教師では教えきれない専門的なことや学校の地域特有のことなどを、教師に代わって授業の中で教えていただく地域にお住いの皆さんや保護者、その道のスペシャリストの方のことで、総合的な学習の時間や社会科の時間などに来ていただいています。

今回は、まず1月31日に1・2年生の「昔遊びを知ろう」の学習の中で、紀和町の老人クラブの役員の皆さん8人に、コマ回しやメンコ、あやとり、けん玉を教えてくださいました。この日に向けて皆さんは、久しぶりにすることもあって、あやとりのしかたを復習していただいたそうです。その甲斐あって、当日は子どもたちに上手に教えていただき、子どもたちもうれしそうに教えていただいたことを自分一人でチャレンジしていました。



2月1日には3・4年生が「消防署と消防団のちがい」について、熊野消防紀和分団長さんと紀和消防団長さんに教えていただきました。消防署と消防団は兄弟のようなものであること、消防署員だけでは人数が足りない分を消防団の皆さんに助けてもらっていること、消防署の皆さんも消防団の皆さんも日ごろの訓練が大切であることなどを教えていただきました。



また、2月4日にはくまの花いっぱいネットワークの会長さんや熊野市役所の方に、「花いっぱい運動」の一環として、金魚草とパンジーの苗をいただき、その定植のしかたを教えてくださいました。来る卒業式や入学式に向けてみんなで花を大切に育て、式に一花咲かそうと考えています。苗は根っこを十分に伸ばすためにプランターの端に植えたほうが良いと教えていただき、子どもたちは「へー、そうなんだ」と驚いた様子でした。



教師だけでは教えきれないことはたくさんあります。そんな時は、地域の皆さんの助けをお借りしながら、子どもたちはいろんなことを学んでいます。ゲストティーチャーの皆さん、本当にありがとうございました。と同時に、今後もよろしくお願ひいたします。

食育の授業がありました

2月7日に今年度最後の食育の授業がありました。「食育」とは子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校において積極的に取り組んでいくもので、「食べ物を大事にする感謝の心」「好き嫌いしないで栄養バランスよく食べること」「食事のマナーなどの社会性」「食事の重要性や心身の健康」「安全や品質など食品を選択する能力」「地域の産物や歴史など食文化の理解」などを学びます。成長期の子どもに対する食育は、子どもたちが一生にわたって健やかに生きていくことができるよう、その基礎をつくるために行われるものです。これらは普段の給食を通じて行うものもあれば、今回のように栄養教諭を中心とした授業の中で行うものもあります。

また、「栄養教諭」とは児童・生徒への食に関する指導、学校給食の管理などを行う教諭で、本校の場合は井戸小学校の萩野先生が本校の栄養教諭を兼ねています。なので、各学期に1回ではありますが入鹿小学校に来て、子どもたちに授業をしています。

今回の学習内容は1・2年生が「おこめとなかよしくなろう」、3・4年生が「すききらいせず食べよう」、5・6年生が「生活習慣病を予防しよう」でした。このように、学校でも子どもたちに食について教えてはいますが、各ご家庭でも食についてお子さんとお話をしていただければ、学校での食育がより効果的になると思いますので、食事の時間で構わないと思いますので、よろしくをお願いします。

授業参観にお越しください

2月15日（金）の5時間め（13時35分から）授業参観を行います。特に5・6年生では紀宝警察署の生活安全刑事課の方にお越しいただき、スマートフォンやインターネットの危険性についてお話をさせていただきます。今や多くの小学生がスマートフォンをもち、中には、親より子どもの方が内容や使い方をよく知っているということもよくありますので、保護者の皆さんもスマートフォンやインターネットの何がどのように危険なのかを知っていただくことはとても大切だと思います。この日はその後、育友会主催の家庭教育講演会もあります。是非、授業参観からお越しください。

また、翌16日（土）には先にご案内の通り、入鹿中学校区人権フォーラムが入鹿中学校で開催されます。今年は小学校の全児童が参加します。連日にはなりますが、こちらへも是非ご参加いただきますよう、お願いいたします。

